

特集

地域の歴史再発見

—博物館・資料館・展示館にいこう!—

祝!!

倉吉博物館
リニューアルオープン

倉吉博物館に出かけよう!

倉吉博物館は打吹山のふもと、自然豊かな打吹公園の中にあり、地域のみなさまの憩いの場にもなっています。博物館には、なかなか見ることのできない貴重な考古資料が展示されており、考古学に興味を持つ人は必見です。ここでは、倉吉の至宝を3点紹介します。

倉吉の至宝 ①

国重要文化財

(倉吉市 上野遺跡)

上野遺跡の子持壺



鳥取県でたくさんの子持壺が見られるのはここ倉吉博物館だけです。大きな壺に小さな壺がたくさん付いていることから、「子持壺」と呼ばれています。

指定名称「子持壺形須恵器、脚付子持壺形須恵器」

(写真提供：倉吉博物館)

小田学芸員にインタビュー

「震災で建物や多くの展示品に大きな被害があり、休館を余儀なく強いられましたが、市内を巡回し展示をおこなってきました。改修工事が終わり、平成29年8月1日に地域の博物館として再出発しました。

震災直後から皆様の暖かいお言葉に支えられ、リニューアルオープンをむかえることができました。鳥取県中部の文化・歴史を伝える博物館であり続けたいと考えています。

震災を後世に伝えるものとして、45度回転した「鳩と少女」の銅像を残しました。

皆様の御来館を心よりお待ちしております。」

倉吉市は元気です!



倉吉の至宝 ②

国重要文化財

(倉吉市 野口1号墳)

装飾子持壺付装飾器台



野口1号墳から出土した装飾子持壺付装飾器台は、馬に乗り犬とともに鹿を追う狩の様子、2人の人物が組み合う姿(相撲?)が表現されており、古墳時代の1場面を表す逸品です。

指定名称

「鳥取県野口1号墳出土須恵器」

(写真提供：倉吉博物館)

倉吉の至宝 ③

鳥取県指定保護文化財

(倉吉市 小田遺跡)

小田遺跡の銅鐸



鳥取県で唯一2点の銅鐸が一緒に見つかった遺跡です。銅鐸は、弥生時代に農耕儀礼の祭器として使用されたというのが通説です。どのような音色を奏でていたのでしょうか。

指定名称

「袈裟襷文銅鐸」

(写真提供：倉吉博物館)

倉吉博物館

鳥取県倉吉市仲ノ町3445-8 TEL 0858-22-4409 / FAX 0858-22-4415
ホームページ / <http://www1.city.kurayoshi.lg.jp/hakubutsu/>



ピックアップ講座

倉吉博物館講座「小鴨川流域の古墳について」

おすすめ情報 倉吉市を南西から北東へ流れる小鴨川の流域には、倉吉で最古の横穴式石室を有する大宮古墳をはじめとして、多くの古墳が見られます。これらの古墳を紹介し、古墳時代の小鴨川流域の様相について説明します。

場 上小鴨公民館 期 1月27日(土) ￥無料 交 日交バス関金線「上小川」バス停下車 P 17台 主 倉吉博物館